

企画展 土門拳の昭和

会 期 2010年4月10日(土)～6月20日(日)

日本写真史上の巨人、土門拳は、昭和という時代を克明に追った傑作群で知られています。土門拳は、1909(明治42)年に山形県酒田市に生まれました。1935(昭和10)年に名取洋之助主宰の「日本工房」に入社し報道写真家として活躍すると同時に、日本の社会と文化をテーマとするスタイルを築いていきます。第二次世界大戦終結後は、戦後日本の現実に正面から取り組む写真を目指し、土門を中心とするリアリズム写真は大きな潮流となりました。その後、1979(昭和54)年に病に倒れるまで45年にわたってドキュメント、人物、古美術、建築、風景などあらゆる被写体に迫り続けました。

本展覧会は写真家、土門拳の昭和のあゆみを紹介するものです。昭和を生きる人々を活写した作品群や、日本の古き美を伝える《古寺巡礼》など、今も忘れることのできない不朽の名作をとおして、土門拳の全制作を一望します。

会 場	高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)
時 間	午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) 金曜日のみ午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)
休 館 日	月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、祝日の翌日 会期中の休館日：4/12・19・26、5/5・10・17・24・31、6/7・14
観 覧 料	一般：500円(400円)、大高生：300円(250円) <ul style="list-style-type: none">● ()内は20名以上の団体割引料金● 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
協 力	(財)土門拳記念館、酒田市、酒田市教育委員会、(財)草月会
協 賛	(株)ニコン、(株)ニコンイメージングジャパン、富士フィルム(株)
企画協力	クレヴィス

関連事業

- 作品解説会 4/10、5/1、5/22、6/12 14:00～